

秘

昭和八年八月自至百衛生業務旬報

混成第十四旅團司令部

調制衣官

混成第十四混成團司令部附陸軍二等軍醫正高崎英彦

昭和八年八月<sup>自前日</sup>至<sup>前日</sup>衛生業務旬報 於山海關混成第十四混成團司令部

一部隊行動ノ概要

一、諸隊ハ前旬同様ノ態勢ナリ、只各部隊毎ニ警備地  
附近ニ於テ示威行動ノ目的ヲ以テ、小部隊ノ行軍ヲ實施  
シ或ハ匪賊討伐ヲ行ヒ又ハ熱河省、河北省内駐屯部  
隊ニ對スル兵器、彈藥、糧秣等ノ輸送監視ノ為小部隊  
ノ出動ヲ見タリ。

二、熱河策戰ヨリ當旅團ニ配屬セラレアリシ工兵第十四大隊ノ

一中隊ハ十七日全員原隊復歸ノ為山海關ヲ出發セリ、

衛生機關業務ノ概要

一、新配備ニ伴フ患者後送計畫

山海關附近各部隊ノ患者ハ山海關衛生班ニ收容ス

ルモノトス。

四、奉山鐵路沿線各部隊ノ患者ハ山海関衛生班ニ收容スルヲ本則トスルモ、綏中興城ニアリテハ患者ノ状況ニ依リ、錦州衛戍病院ニ送致スルヲ得、

以、右ニ項ニヨル山海関患者輸送ハ患者自動車又ハ汽車ヲ使用スルモノトス、

以、大障子及撒河橋ノ患者ハ建昌營ニ車馬輸送ヲモトス、

以、建昌營ノ患者ハ空輸(二時間半)ニシテ、~~錦州衛戍病院~~、遼河北京寧鐵路ヲ利用シ山海関衛生班ニ後送スルモノトス、

以、蝶牛營子(凌南)ノ患者ハ當分綏中部隊ニ車馬輸送ヲ行テモノトス、但シ飛行場完成ノ曉ハ錦州衛戍病院空輸(三十分)スルモノトス、

以、傳染病患者ノ飛行機及汽車輸送ハ之ヲ行ハサルヲ本則トス、

二、衛生班ハ前旬ニ引續キ、依然山海関奉山鐵路附設醫院ニ開設ス。本旬間收容シタル患者總數ハ十八名(前旬同數)ニシテ、赤痢一名(北支那駐屯軍憲兵)其他平病十七名(花柳病三、痔病三、胸膜炎一等)ニシテ、齒科受診患者ハ總計七十五名(前旬四十七名)ニシテ、稍増加ヲ見タリ。齒科醫ハ歩三各部隊ノ爲メニ本月十七日綏中ニ出張診療ヲ實施セリ、

尚衛生班附軍醫二名ハ引續キ在山海関部隊中醫官配屬ナキ部隊ノ診療及檢査ヲ担任シツ、アリ、

三、患者輸送ノ状況

衛生班ヨリ奉山錦州衛戍病院ニ転送セル患者ハ總計六名(戰傷一、平病五)ニシテ、建昌營部隊(歩三五)ヨリ胸膜炎二名ヲ錦州衛戍病院ニ飛行機輸送セリ、

部隊別	區分	新患数	治愈	転送	後遺	摘要
旅團司令部		1	1	2	8	松柳疹
歩二五ノ五		1	1	2	8	
歩二六ノ五		6	3	2	1	胸膜炎疑
歩二七ノ五		9		8	1	胸膜炎疑
歩三八ノ五		6	3	3		
騎七ノ二中		12	6	1	5	胸膜炎疑
野砲七ノ五		9	6		3	胸膜炎疑
通信隊		3		2	1	

病名未定ハ十九名ヲ算ス、  
 部隊別患者ノ状況ハ左表ノ如シ、  
 部隊別患者表

四 衛生材料補給ノ状況  
 一 凌南(歩二六)ニ於ケル治療實施ノ件、認可セシメ同時所要  
 材料ハ山海關衛生班、同材料ニ箇月分ヲ流用スヘキ指示  
 ラ單々醫部ヨリ受領セルヲ以テ、十五日看護兵一名ヲ宰  
 領トシ錦州兵站監部へ派遣飛行機輸送ノ手續ヲ取リ、  
 又衛生材料及保健防疫用材料ノ補給状態ハ概不順調ニ  
 實施セラレ、遠隔地ニ分心セル諸隊ニ對シテハ飛行機及漕  
 河ハ水運ヲ利用シ比較的迅速ニ補給セラレツ、アリ、  
 五 一般衛生状態  
 一 旬間各部隊休業以テ新患總數ハ五六名ニシテ前旬(四  
 八名)ト大差ナシ、從來稍々多發ノ傾向アリシ胃腸炎(九  
 名)及感冒性疾患(二名)ハ益々減少セルモ、胸膜炎(二名)  
 及花柳疹(三名)ハ尚減少ニ至ララル遺憾トス、

自動車班	〇			
衛生班	〇			
計	五六	一九	一八	一九

2. 被服ノ状況

特ニ記スヘキモノナシ

3. 糧秣ノ状況

特ニ記スヘキモノナシ

4. 宿營ノ状況

前旬ヨリ工事開始中ノ衛生班傳染病室一棟ハ落成ス  
 屋根ハトドシ張「ア」ニ圍煉瓦敷床ニシテ六室ヲ有シ室  
 ニ患者四名ヲ收容シ得採光概不可ナリ  
 前引續キ病室一棟、病理試驗室、及倉庫ノ新築工  
 事中ナリ

5. 給水ノ状況

特ニ記スヘキモノナシ

6. 氣象ノ状況

朝夕ト日中トノ氣温ノ差愈々増大シ殊ニ建昌營及熱河  
 省山間ニ於テ特ニ著明ナリ、降雨ハ奉山鐵路沿線海  
 岸地帯ニ少キモ、山間部隊地方ハ比較的多シ、  
 山海関、綏中、茲ニ建昌營ニ於ケル氣象左ノ如シ、

山海関

月日	天候	測定時間	間別	月日	天候	測定時間	間別
十一月十一日	晴	二〇・〇	午前	十一月十五日	晴	二四・〇	午前
十二日	曇	二一・〇	午後	十六日	"	二三・〇	午後
十三日	晴	二〇・〇	午前	十七日	"	二三・〇	午後
十四日	"	二一・〇	午後	十八日	曇	二四・〇	午後

十九日	雨	二四〇	二七〇	二三〇	二十日	晴	一九〇	二八〇	二〇〇
-----	---	-----	-----	-----	-----	---	-----	-----	-----

綏中

月日	天候	測定時	個別	月日	天候	測定時	個別
八月一日	晴	二三〇	三一〇	八月六日	晴	二〇〇	三一五
十二日	"	二四〇	三〇〇	十七日	"	二二五	三〇〇
十三日	"	二三〇	三一〇	十八日	"	二〇〇	三〇五
十四日	曇	二三〇	三〇五	十九日	曇	二一〇	三一〇
十五日	晴	三三五	三〇〇	二十日	晴	一九〇	二九〇

建昌營

十一日	曇	二〇〇	二八〇	二三〇	十六日	晴	二三〇	三九〇	二四〇
十二日	晴	一九〇	二七〇	二二〇	十七日	"	二三〇	三一五	二四〇
十三日	"	二〇〇	二八〇	二三〇	十八日	"	二一〇	三〇〇	二三〇
十四日	晴	二〇〇	三〇〇	二三五	十九日	雨	二二〇	二九〇	一九〇
十五日	"	二二〇	三〇〇	二五〇	二十日	雨	二七〇	二六〇	一八〇

六所疫及衛生施設

ノ関隘内第七六二號ニヨリ飛行機ノ汚染防止法ニ消毒ニ關シ各部隊ノ注意ヲ荷獲ス

又團下各部隊ノ腸チフス、パラチフス、混合豫防接種液「コレラ」豫防接種ハ軍隊前配属ナキ撒河橋部隊(歩三九七中山砲一分隊)ヲ除キ全部完了セリ。撒河橋部隊ハ接種液有効期限ヲ経過セル為再申請中ナルヲ以テ、接種液到着ノ上ハ直チニ貸與シ豫定ナリ。

歩兵第三七聯隊第一大隊ノ時疫検査ハ一般豫防的處置ト共ニ前旬ヨリ引續キ順調ニ貸與セラレ、隊附軍隊ノ熱心ト努力ト逐次其ノ効價ヲ發揮シツ、本旬結核ノ最モ膿厚ト目セラル、第二中隊及機關銃隊ヨリ各一名ノ抗酸性菌(カフキ)一號乃至三號程度保有者ヲ檢出シ

直ニ患者ヲ隔離入班スル。居室被服食器等消毒ヲ勵行セリ。

尚歩兵第二十五聯隊騎兵第七聯隊(連昌營部隊)八目下嘔痰検査實質施中ナリ。

4. 前所部隊(歩三七ノ大隊本部及第七中隊M.G)ハ本旬ニ於テ炊事場完成セルヲ以テ、場内外ノ消毒の清潔法ヲ實質施シ、防疫的施設ヲ行ヒ且ツ調理上ノ諸注意ニ関シ同到ナル教育ヲ實質施セリ。

5. 司令部附軍醫曹長本旬山海關ニ於ケル日鮮支人藝術的婦檢徴狀況迄ニ妓樓ノ花柳病豫防施設等ニ関シ視察セル結果支那人娼妓ハ有毒者常ニ他ニ比シ多數ヲ占ムルニ拘ラス。治療ノ要ホニ應セス且ツ豫防的施設ヲモ行ハサルヲ以テ、有毒者ハ逐日増加ヲ見ツアリ。

一面多數ノ移住日鮮人娼婦ヨリ雨雨用ハ充分ナル現況ヲ看取ラ衛生活部隊ノ過少ニシテ餘力ニ乏シキ現下支那人娼妓ノ檢徴ハ徒勞ナルヲ以テ、爾今之レヲ廢止スルノ可カラ決意シ之レカ意見具申ヲナシ關係部隊ハ實質迄ヲ通報シ兵員之ニ接セル様特ニ注意ヲ促セリ。

尚前所部隊ニ於テ之同地日鮮人藝術的婦ハ有毒者多數ナルヲ以テ、六軒中四軒ニ立寄禁止ヲ命セリ、七其他必要ト認ムル事項。

司令部附軍醫曹長本旬旅團長ニ隨行シテ、歩三六大隊本部第五第六中隊、歩三七第三中隊、野砲七第一大隊、通信隊、自動車班、衛生班(以上山海關部隊)及歩三七大隊本部第一第二中隊(前所部隊)、歩三八大隊本部、第五第六中隊(綏中部隊)、歩三八第七中隊(興城部隊)ノ衛